

2013.1.2~3 / 8:00 START

箱根駅伝 Course Map

東京読売新聞社前
～箱根芦ノ湖往復



- ## 禁止事項
- マナーを守って 応援しましょう!
- 脚立を使つての応援
 - ガードレールや橋など、沿道公共物への横幕、旗、幟等のくくりつけ
 - 自動車、自動二輪車、自転車等の車両による応援
 - スタート地点、ゴール地点、中継所の前後100m以内での校旗、横幕、大学新聞の配布等、出場校を標示する物の掲出
 - 道路上での応援
 - 歩道から手や身体を乗り出での応援
- ※応援の際に出たゴミは必ず持ち帰りましょう!

箱根駅伝2013 特設サイトOPEN!

トップ > 箱根駅伝特集ページ

携帯コンテンツのご紹介

中央学院大学駅伝携帯サイトでは、大会までの情報や当日の選手情報などを配信します! 更新内容は監督のコメント、選手の意気込み、エントリー情報など、当日の応援に役立つコンテンツがいっぱい!

©LogoQ

2013.1.2~3

第89回 東京箱根間往復大学駅伝競走出場



11年連続14回目の箱根路
それぞれの思いを胸に 襷をつなぐ



中央学院大学

〒270-1196 千葉県我孫子市久寺家451
TEL 04-7183-6501 (代)

<http://www.cgu.ac.jp/>

中央学院大学

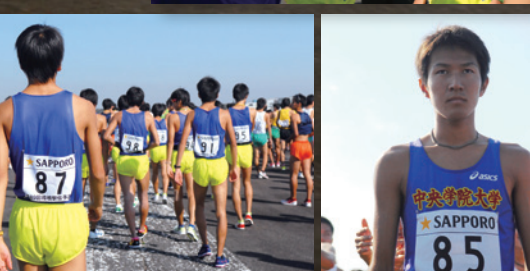
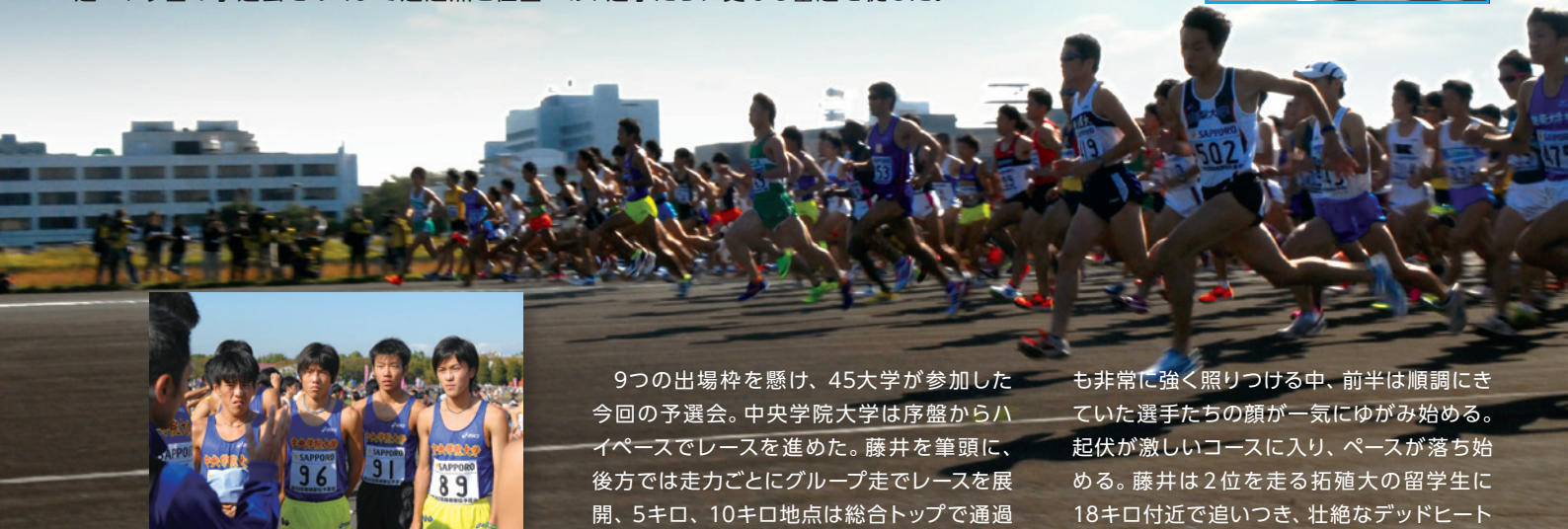


第89回 箱根駅伝予選会レポート



- ✓ 堂々の3位で箱根駅伝出場権獲得
- ✓ エース藤井が日本人トップ
- ✓ 本戦では上位進出も視野に

来年1月2、3日に開催される東京箱根間往復大学駅伝競走の予選会が10月20日(土)、東京・立川市の昭和記念公園周辺コース(20キロ)で開かれ、中央学院大学は10時間09分54秒のタイムで3位に入り、見事本戦出場権を獲得した。エースで主将の藤井啓介(4年)は序盤からハイペースで飛び出す外国人留学生に積極的についていき、59分09秒の好タイムで全体の3位、日本人では断トツのトップでゴールした。川崎勇二監督は、「気温の高い条件の中、全体的に速いペースでレースを進められた。後半落ちた選手が多かったものの、よく辛抱した。本戦では何が何でもシード権、あわよくば上位進出も狙いたい」と述べ、今回の予選会をあくまで通過点と位置づけ、選手たちに更なる奮起を促した。



9つの出場枠を懸け、45大学が参加した今回の予選会。中央学院大学は序盤からハイペースでレースを進めた。藤井を筆頭に、後方では走力ごとにグループ走でレースを展開、5キロ、10キロ地点は総合トップで通過した。本戦でのレースを見据え、着実に力をつけてきたチームは、「予選会トップ通過」を目標に、夏合宿等で順調に練習を消化。「今年は昨年より数倍良く仕上げてくれた」(藤井主将)という言葉通り、各選手が持っている力を序盤は存分に発揮した。

藤井は途中外国人留学生から離されたものの、日本人でただ1人、前を追った。後方では室田祐司(4年)が1キロ3分のイーブンペースで押していき、順位を上げる。15キロ地点では総合2位。伝統校の日体大がペースを上げてきた。

残り5キロ。ここからチームは苦戦を強いられる。気温が20度以上に上昇し、日差し

も非常に強く照りつける中、前半は順調にきていた選手たちの顔が一気にゆがみ始める。起伏が激しいコースに入り、ペースが落ち始める。藤井は2位を走る拓殖大の留学生に18キロ付近で追いつき、壮絶なデッドヒートを繰り広げる。他の選手たちも苦しみながら何とか粘り、ゴールを目指した。

総合3位。11年連続14回目の本戦出場が決まった。しかも、10時間09分54秒のタイムは大学記録を更新する好記録。それにもかかわらず、監督を始め、チームに安堵の表情はなかった。「何とか権利を得たが、ここは通過点。予選会が終わった時点でスタートだ」とした上で、「今の流れで行って間違いはない。あとは君らがどれだけ我慢するか。(後半のペースダウンという)課題が見つかった分、まだまだ上を目指せる。全員で力を合わせてほしい」と述べ、自信を見せつつさらなる飛躍をチームに求めた。

第89回 箱根駅伝予選会 個人成績

藤井 啓介 (4年 兵庫:兵庫工業)	59分09秒	3位	沼田 大貴 (3年 茨城:日立工業)	61分17秒	70位
室田 祐司 (4年 兵庫:神港学園)	60分00秒	8位	山田 侑紀 (2年 兵庫:飾磨工業)	61分42秒	96位
田中 瑞穂 (3年 兵庫:県立西宮)	60分30秒	21位	木部 誠人 (2年 京都:桂)	62分03秒	122位
岡本 雄大 (3年 岡山:岡山工業)	60分31秒	24位	濱滝 大記 (1年 和歌山:笠田)	62分30秒	153位
及川 佑太 (2年 宮城:利府)	60分57秒	54位	岩田 将央 (4年 福井:美方)	62分39秒	161位
塩谷 桂大 (1年 栃木:那須拓殖)	61分15秒	69位	鈴木 宏弥 (3年 埼玉:武蔵越生)	63分57秒	218位



第89回 箱根駅伝 巻き起こせCGU旋風!!



- ✓ 順調な仕上がりで十分戦えるチームに
- ✓ エースに鼓舞されチーム全体が成長

本戦を前に自己ベスト更新続出!

エースの藤井だけではない。11月17日の日体大記録会10000mでは、準エースの室田祐司(4年)をはじめ、田中瑞穂(3年)、及川佑太(2年)など5人が自己ベストをマーク。そして、翌18日の上尾シティハーフマラソンではルーキーの塩谷桂大(1年)が他大学の主力に混じり、5位入賞という好成績を収めた。さらに、24日の関東学連10000m記録挑戦会で、塩谷は28分台をマーク。同じく1年生ルーキーの濱滝大記も28分台の好記録をたたき出し、他の選手も続々と自己ベストを更新した。チーム全体の底上げが進み、本戦に向け順調な仕上がりをみせており、上位進出も現実的なものとなってきている。

チームを鼓舞する闘将・藤井は気迫のこもった積極的な走りで、抜群の安定感が持ち味。3年時から主将を務め、強いキャプテンシーを発揮してきた。最終学年を迎え、チーム内外に強烈なインパクトを放ち続けるエースは、花の2区で1時間7分台を目標に、チームとしても個人としても箱根でリベンジを目指す。

今年のチームは悔しさをためている。6月の全日本大学駅伝予選会では3組まで通過圏内にいながら最終4組で脱落。特に不振だった田中瑞穂は「自分の持ち味は粘り強さ。その走りを見てほしい」と

雪辱に燃える。これまで2年連続で5区山登りを任されており、チームの主力としての走りが期待される。

今回で14回目の箱根路挑戦となる中央学院大学。フラッシュイエローのユニフォームもすっかりおなじみとなった。高校時代は全くの無名選手たちを鍛え上げて、有力校と肩を並べるにまで毎年戦力を整える。トラックよりもロードで強みを増し、数字以上にレースで力を発揮する。特に、藤井のような大黒柱がいるときのチームは躍進し結果を残している。闘将に引っ張られるようにたくましく成長した選手たちに注目してほしい。

今後のスケジュール

12月10日(月) ▶ 箱根駅伝 16人エントリー発表

12月25日(火)～30日(日) ▶ 調整合宿(千葉県・富津)

12月29日(土) ▶ 箱根駅伝区間エントリー

2013年1月2日(水) ▶ 第89回箱根駅伝・往路(東京・大手町～神奈川・箱根)

2013年1月3日(木) ▶ 第89回箱根駅伝・復路(神奈川・箱根～東京・大手町)



本戦でも十分戦える 何が何でもシード、そしてそれ以上へ

川崎勇二 監督



おかげさまで、何とか出場権を得ることができました。今年は先を見据えた上での予選会であるという意識で練習を積んできました。1年間見ていてたくましくなっています。ここ3年連続シードを落としているので、何が何でも本戦ではシード、またそれ以上のことを考えています。今年のチームは、藤井というエースがおり、本戦では十分戦えるチームだと思っています。

我々は本戦で3位という結果も過去には残しています。何とかそれに迫れるよう、部員それぞれが強い気持ちを持つことができればそこに近づくはず。本戦に向け鍛え直しますので、街で会ったら学生に声をかけてください。

本戦は長く悔しい思いをしていますので、今回は皆さんと一緒に笑顔でお正月を迎えたいと思っています。非常に楽しみなレースを期待してください。そのためには、それなりの厳しさをもち、努力が必要です。更なる上を見て、学生ともども頑張りますので、熱い声援をお願いいたします。

他大学のエースたちと2区で勝負 自分で流れを作りチームを上位へ

藤井啓介 主将



主将として、今年はチームを引き締め、昨年より順調に進んでこれましたので不安要素はまったくありませんでした。今まで通りやっていては結果は残せないの、夏合宿もかなり走りこんできました。120%の力を箱根駅伝で出せるようにこれから練習・調整をしていきます。

個人としては、今回はエース区間の2区で1時間7分42秒という、木原真佐人さん(2009年卒)のタイムを目標にしています。やっ和他大学のエースたちと戦える力が付いたとは思っていますので、そこできに勝負できるかが本戦ではカギになります。僕がしっかり流れを作ればチームも上位に食い込めます。応援してくださいみなさんにしっかり恩返しという形で結果を残していきたいと思っています。

熱いご声援をお願いいたします!